高等学校「社会と情報」実習プリント⑦

コミュニケーションとメディア

<ねらい>

- 1. コミュンケーションの特徴を理解しよう!
- 2. メディアの意味と特徴を理解しよう

1		"	<u> </u>	ケー	ショ	٠,	手段	ŀΜ	発達
	. –	_		,		_	צרו נ		76.55

①コミュニ	ニケーションとは=人から人へ情報を伝達して意味を分かち合うこと
() =言葉によるコミュニケーション
() =身振り手振りなど言葉を使わないコミュニケーション
>	※メラビアンの実験=対話の時にノンバーバルコミュニケーションが 93%

②コミュニケーションのプロセス

考えや感情を言葉や文字に置き換え(記号化)→伝える→言葉や文字を解釈(復号) →この記号化や復号化の際に、発信者と受け手の間でのとり違いが起こる ※アンジャッシュの勘違いコント→前提が異なるとお互い通じない

◇作業:コミュニケーションで、相手にうまく伝わらなかったり、上手に説明できなかったり、思い違いをした例はないだろうか。自分や周りの経験を書いてください。

(例) 大阪弁の片付けるという意味の「なおす」が東京の友人には通じなかった

◇調査:インターネットがなかった時代と今を比較して便利になったことは何だろう? 具体的な状況をあげて、なかった時の方法と現在の方法を比較してみよう。

状況	なかった時代	ある時代		
(例) 天気を調べる	(例)177 に電話する	(例) スマホで調べる		

高校1年 組 番(名前)

|2. コミュニケーションの形態|

- ②() とは=情報伝達の際に発信者と受信者の中間に入る「媒体・媒介」 (例)「TV」を見る=「TVを通じて送られる情報」を見る → TVはメディア
- ◇実習:下のコミュニケーションを分類してみよう

{ 二人の対話、新聞、テレビ、Web サイト、電話、手紙、メール、ブログ、FAX}

「1 対多」と 「1 対 1」	1対多	1 対 1
「一方向」と 「双方向」	一方向	双方向
「同期」と	同期	非同期

◇疑問:LINEや携帯メールは「同期」か「非同期」のどちらと考えればいいだろう?

同期の部分	非同期の部分

3. メディアリテラシー

① () =メディアの機能と特性を理解したうえで、受け手として情報を 読み解き、送り手として情報を表現・発信する能力

②受け手としてのメディアリテラシー

◇実習:メディアを批判的に読み解こう! (通販番組)

→小さな目立たない文字で書いてある言葉は何?、数字のマジック?

◇実習: TVなどの報道でステレオタイプな考え報道されているものはないだろうか?

(例) 高校野球は感動的に伝えないといけない。ドラマの先生は熱血でないといけない。